

政務調査報告書

第22号



学校給食にオーガニック野菜を!

オーガニックとは「有機」という意味で化学肥料や農薬、遺伝子組み換え技術を利用せず、環境負担が少ない農業のことです。

伝統農芸として先人の知恵と自然の恵みで農作物を育てるオーガニックの価値観と、宗像の特性(霊性、精霊信仰、生態)が示す自然と共に生きる価値観は日本人本来のものであり、同質性があると感じます。

宗像市の学校給食の地産地消率は直売場や農家の採算度外 視の協力により県内三位と先進的です。これをさらにオーガ ニック野菜にすることで宗像ブランドとして子育て世代に選ばれ るまちになると提案しました。

しかし、多くの課題があり、対応を議論しました。

●価格差はどうする? 時期や作物によって変わるが、2-3割増になる。価格差は、農産業振興、食育、環境保全、健康といった付加価値を得るために市が補助しては。

②量と種類の生産供給は可能? 給食で年間定額定量の買取を行い需要を先に確定してから新規就農者に供給を働きかけては。オーガニック市場開拓と就農支援につながる。

③衛生管理や食品規格、配送、調理時間は? 限られた時間で安全な調理をするため現行ルールがあるが、変化することで効果を得る。農業者、学校、市と双方向で解決策を。

ひかり幼育園では、命、つながり、自立という理念に共感した 有機農家さんが協力しオーガニック給食を提供しています。

食育や体づくり、アレルギー改善などの実例もあり、学校給食の課題を検討するために、まず賛同する保育園幼稚園にオーガニックを導入し、産官学の協力のもと、モデルケースとして効果を検証してはどうか、と提案しました。







オーガニックの先駆者、農家レストランまねき猫さんは地元料理店の魚の残渣を原料に有機ぼかし肥料をつくっています。循環型の土壌環境で手間と経費、技術を使い野菜を栽培していますが、販売価格に充分反映せず、消費者の理解が今後の課題です。



2019ラグビー W杯 キャンプ地誘致は?

私はラグビーW杯キャンプ地誘致を6年 間、訴え続けてきました。

世界三大スポーツイベントといわれ、アジ アで初開催され、東京オリンピックに続く という重要なイベントであり、宗像のス ポーツ資産を活用することで未来につな がる価値を産むと考えたからです。

しかし、結果は公認キャンプ地に選ばれま せんでした。

キャンプ地は各自治体からの提案内容を 組織委員会が取りまとめ、出場国自体が選 択します。宗像市は試合会場からの距離、 宿泊グレードの2点で課題があり選ばれな かったと分析されています。

今大会はアジアにおけるグローバルス ポーツの発展、ラグビー精神、おもてなし、 というミッション、日本と世界を強い絆で 結び協創するビジョンを打ち出し、ソフト レガシーとしています。

宗像市はむなかたレガシープランで未来 に残す宝物を明確にして誘致を行い、古来 アジアの玄関口という歴史があり、グロー バルアリーナのラグビー界への貢献は世 界に高く評価されています。この目に見え

ない価値が出場国に伝わっていたのか疑 問です。本来、組織委員会が伝えるべきも のは書面上の条件ではなく、大会の理想に そった価値ではないか、と思います。

日本代表合宿や、組織委員会の現地調査 での高評価、強豪国からの打診など順調に 誘致が行われている印象があっただけに、 非常に残念です。

しかし、この誘致を通してグローバルア リーナの海外での知名度と海外の協議連 盟との関係の深さを再認識し、日本ラグ ビー協会とは強いパイプができました。

今後は経験とネットワークを活かしてス ポーツ環境や多様な文化に触れる機会が 増加されます。グローバルアリーナの公益 性を市民の共通認識にして次につなげて いきたいと考えます。



日本代表の宗像市合宿。たくさんのファンが「ラグビー タウン宗像」で交流を深めました。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります!

日々の活動は facebook にて fb.me/goyo4da





一般質問の会議映像は 宗像市役所HPにて



昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ 東郷小学校~中央中学校卒業

平成3年 宗像高校卒業

平成8年 福岡大学経済学部卒業

平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業) 入社、平成24年6月退社

平成24年 10月、宗像市議に初当選 平成28年 宗像市議に再選を果たす

現 在 宗像市久原に在住

総務常任委員会 委員長 議会運営委員会 副委員長 自民党宗像市支部 青年局長 東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 4月 宗像市長選挙が行われ、福岡県初の女性市長、伊豆 市長が誕生しました。谷井前市長の功績を再確認し 伊豆新市長の手腕に期待します。
- 5月 サニックスワールドラグビーユース交流大会は玄海 ジュニアの卒業生が国内外の高校生としのぎを削っ ていました。感動と同時にラグビー文化が根付いて いることを実感しました。
- 6月 定例会。農業に関する一般質問では、20数年前に屋 久島に住み込んで自然農法を試みた経験や、オーガ ニックに関係する人々とのご縁など、不思議なつなが りを感じました。